

よくある質問

セクター別

食品加工

1. 登録された人は、グルグルムの製造ユニットからデリーの彼の支店に半調理食品を送ります。彼は税金を払う必要がありますか？

2017年のCGST法のセクション25(4)の規定に従って、異なる州の支店は個別の人物と見なされません。さらに、別紙Iのとおり、これは、考慮せずに行われたとしても、別個の個人間のビジネスの過程または助成で行われた供給を構成します。州間の供給であるため、登録者はIGSTを支払う必要があります。

2. FSSAI、2006とは何ですか、なぜこの法律が必要なのですか？

FSSAI 2006は、変化する時間のニーズ/要件に対応し、食品に関する法律を統合し、インドの食品安全規格局を設立するために制定された法律です。この法律は、食品法、基準設定、施行のための単一の法定組織を引き出すために必要でした。これにより、消費者、トレーダー、製造業者、投資家の心の中で食品法の多様性が原因で混乱することがなくなります。

3. 全国家畜代表団とは何ですか？

国立家畜使節団は農業農民福祉省のイニシアチブです。2014~15年に開始されたこのミッションは、畜産部門の持続可能な開発を目的として設計されました。NABARDは、National Livestock MissionのEntrepreneurship Development & Employment Generation (EDEG) コンポーネントの下にある助成金チャネル化機関です。これも：

- 1) 家禽ベンチャーキャピタルファンド (PVCF)。
- 2) 小型反すう動物とウサギの統合開発 (IDSRR)。
- 3) ブタの発育 (PD)。
- 4) 雄の水牛の子牛のサルベージと飼育 (SRMBC)。

4. 交渉可能な倉庫の領収書に対する小規模および限界の農家への利害補償は何ですか？

インド政府 (GoI) は、農家による農産物の苦痛な販売を阻止し、農産物を倉庫に保管して倉庫に保

管するよう奨励するため、2011-12年に、交渉可能な倉庫の受取に対して農民に譲許的融資を拡大するスキームを導入しました。銀行からKisanクレジットカードを持っている中小農民（SF / MF）に提供された交渉可能な倉庫領収書（NWR）に対する収穫後のローンは、利率保証の対象となり、利用可能なと同じレートで最大6か月間有効です。ローンを収穫する。

銀行システムを通じて作物ローンを利用していないSF / MFは対象外です。このスキームでは、作物ローンで利用できるような、迅速な返済への追加の介入は想定されていません。

5. 外国投資家、外国企業のプライベートエクイティ部門がSPVのメンバーになり、株式の形で共通インフラストラクチャの作成に投資できますか？

はい、そのような企業はインドのプロモーターと手を組んで特別目的車両を形成し、株式を提供することでプロジェクトに投資できます。ここでは、食品加工部門への外国からの直接投資がインドの自動ルートで許可されていることにも注意してください。ただし、そのような企業に関する純資産およびその他の関連する財務詳細に関する適切な文書は、EOI提案とともに提供する必要があります。

6. メガフードパークで許可されている業種/ユニットの種類を教えてください。

食品を人間および動物の消費に適合させる食品加工産業/ユニットのみが、メガフードパークに設置することが許可されています。食品加工産業に付随する食品の包装施設も、メガフードパークに設置する資格があります。ただし、アンカーユニットとして酒類ユニットを設置することはできません。

7. メガフードパークの「対象プロジェクトコスト」とは何ですか。

「対象となるプロジェクトコスト」は、プロジェクトコストの合計ですが、土地のコスト、術前の費用、運転資金のマージンコストは含まれません。ただし、術前費用の一部としての建設中の利息（IDC）および承認された助成金の最大2%のPMCへの手数料は、適格なプロジェクトコストの下で検討されます（リンクの4.1項のガイドラインを参照）。

8. メガフードパークの場合、土地を農業用から工業用に変更する必要がありますか？

はい、土地利用の変更（CLU）が必須です。土地がすでに指定された工業地帯にある場合、CLUは必要ありません。

9. メガフードパークの設置に必要な最低限の土地はどれくらいですか？

メガフードパークの設置に必要な最低限の土地は、50エーカーの隣接する土地であり、いかなる種類の負担もありません。土地の選択は、接続道路、進入道路、電力、水などの基本的なインフラストラクチャーの可用性、および原材料/市場の可用性の観点からも正当化される必要があります。

10. 倉庫管理および規制当局の下の商品は何ですか？

当局は、穀物、豆類、油糧種子、スパイス、ゴム、タバコ、コーヒーなどを含む115の商品を、交渉可能な倉庫のレシートの発行用に承認し、26の生鮮商品を冷蔵用に承認しました。

11. Central Warehousing Corporation (CWC) の主な活動は何ですか？

CWCは、400を超える商品の保管および倉庫施設を、公共および民間機関、協同組合、トレーダー、農家、輸入業者/輸出業者などの幅広い顧客に提供し、保管および倉庫保管のサービスを提供するだけでなく、CWCは次のことも行っています。活動： i) お客様の玄関口での害虫駆除サービスの提供。これには、一般的な害虫駆除、航空機、鉄道車両の消毒、コンテナ/船のくん蒸、建設前後のシロアリ処理などが含まれます。 ii) EXIM取引をサポートするためのCFS / ICD / 航空貨物複合体/貨物/ICPターミナルなどのインフラストラクチャーの提供。 iii) 預金者の要求に応じて、取り扱いおよび輸送施設を提供する。 iv) 倉庫建設および倉庫関連活動のコンサルタント。 v) 農場レベルでの食用穀物の安全な保管のための農民の訓練、および彼らが安価な制度的信用を確保するのを支援する。